

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 9 日作成)

委員会名	建築情報標準化技術小委員会	主 査 名：寺井達夫
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：河村 廣
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>企画・設計から維持・保全、廃棄に至る建築生産の全プロセスを通じた情報の高度かつ効果的な利用を実現するために必要な建築情報標準化技術の研究開発を啓蒙し、適正化、促進するための調査研究、技術交流等の活動を行い、得られた成果等を出版、シンポジウム等を通じて会員や社会に還元する。</p> <p>初年度：建設 CALS / EC 関連要素技術の検討、ISO、JACIC、C-CADEC、IAI、土木学会等の活動状況分析ならびに情報交換、研究協力</p> <p>2 年度：建築プロジェクトのモデル化水準のレベルアップと、それに応じた前年度提示課題等の検討継続</p> <p>3 年度：建築生産情報統合ガイドブック第 3 版企画、執筆、編集、出版と前年度検討課題の検討継続</p> <p>4 年度：建築学会大会研究集会開催、前年度検討課題の検討継続</p>	
委員構成 (委員名(所属))	寺井達夫(千葉工業大学) 吉田邦彦(愛知淑徳大学) 上野泰正(熊谷組) 岡 正樹(バスプラスワン) 岡本修平(清水建設) 柏崎孝史(日本ステラシステム) 今野一富(高砂熱学工業) 清水弘道(アルモ設計) 天神良久(バスプラスワン) 松並孝明(大林組) 三雲正夫(自営) 塩見忠彦(竹中工務店)	
設置 WG (WG 名: 目的)	<p><u>分類体系 WG</u>： 「AIJ コードWD(案)」の見直し、JACIC における JCCS 構築支援、第 3 回 建築情報標準化技術フォーラムの企画運営</p> <p><u>建築モデル WG</u>： 標準化動向の調査・分析と学会としての提唱等 (STEP、SCADEC、IAI、etc)、公開ワーキングの実施</p> <p><u>デジタルドキュメント WG</u>： ISO/IEC82045 に基づく日本版の試案作成、「平面系設計図書の表記内容標準」の明確化</p> <p><u>出版 WG</u>： 建築生産情報統合ガイドブック第 3 版企画、編集</p>	
2004 年度予算	140,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004 年度の小委員会の開催は年 8 回で参加人数は延べ 64 人(概数)。主な小委員会活動として、各 WG における関連標準化技術の現状動向等の調査分析に関する相互調整を行うとともに、ISO、土木学会、ECOM、JACIC、建設業振興基金を始めとする各種標準化関連組織との研究協力に関わる連携調整、建築生産情報統合ガイドブック第 3 版「ネットワーク時代における建築情報標準化技術」の刊行企画調整と出版、日本建築学会大会 PD「ネットワーク時代における建築情報標準化技術」の企画と実施、関連研究発表等の広報普及活動に関する調整、2005 年度以降の組織改編への対応検討等を行った。

<p>得られた成果</p>	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の標準化関連組織との研究協力( ECOM、JACIC、建設業振興基金、建築住宅国際機構、ISO関連小委員会)</li> <li>・小委員会活動等のホームページによる公開</li> <li>・建築生産情報統合ガイドブック第3版の編集と出版： 本ガイドブックは小委員会の活動成果を出版物としてまとめ、その時点での標準化技術のガイドブックとして機能させることが目的のもので、小委員会活動の主要な成果なるべきものである。これまで 第1版「建築生産・情報技術」(1995年) 第2版「建設CALS実現のための基盤技術」(1999年) の二冊が刊行され、標準化関連技術検討のテキスト、参考書として活用されている。本年刊行のガイドブック第3版のタイトルは「ネットワーク時代における建築情報標準化技術」であり、その構成は以下のとおりである。 第1章：総論 (CALS 実用化への芽生え) 第2章：組織別動向 第3章：デジタルドキュメント 第4章：CAD データ流通 第5章：建築生産モデル 第6章：建築標準分類体系 第7章：建設における情報化実例</li> <li>・日本建築学会大会PDの開催： 2004年8月の大会において、PD「ネットワーク時代における建築情報標準化技術」を開催し、建設CALSが志向する情報連携の実現のための要件整理、標準化推進方策等について討議を行った。</li> <li>・建築雑誌「いま伝えたいトピックス」原稿「CALS/ECとJCCS(建設情報標準分類体系)」の脱稿と引渡し(建築雑誌5月号掲載予定)</li> </ul> <p>委員会HPアドレス：<a href="http://news-sv.ajj.or.jp/jyoho/m050/">http://news-sv.ajj.or.jp/jyoho/m050/</a></p>
<p>目標の達成度</p>	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>2004年度の活動はガイドブック出版が主であり、予定通りの刊行が実現し、それをもとにした大会PDの開催も行われるなど、4年間の活動を締めくくるものとして十分な成果が得られたと評価される。(達成度：80～95%と想定)</p>
<p>その他評価すべき事項</p>	<p>CALS/EC実現のための基盤として注目されるJCCS(建設情報標準分類体系)の開発支援</p>